

# 道徳 中学校 3年

資料名「二通の手紙」

出典 道徳教育推進指導資料6

中学校（文部省刊）

「社会のルールを大切に  
する心を育てる」

## 本時の流れ（1時間）

今日の資料について知る。  
「身近なきまりやルールにはどんなものがあるだろう」

資料の範読を聞く

登場人物とあらすじを確認する。

元さんが規則を破って入場させた理由を考える。  
元さんは、なぜ姉弟を入園させたのだろう。

自分のしたことで大騒ぎになり、姉弟の安否の連絡を待っている時の元さんの気持ちを考える。  
元さんは、祈るような気持ちで連絡を待っていた時、どんなことを考えていただろう。

元さんが姉弟の母親からの手紙を読んだときの気持ちを考える。  
元さんは、お母さんからの手紙を読んで、どんなことを考えただろう。

元さんがこのできごとを通して考えさせられたことを考える。  
元さんが、「この年になって初めて考えさせられたこと」とはどんなことだろう。

規則やルールが守られるということは、すべての人の命や生活、権利が守られることにつながるということを理解する。  
元さんは、なぜ「はればれとした顔」なのだろう。

感想を書く  
今日の学習で思ったことや感じたことを書きましょ

主題名 きまりの意義  
内容項目 4-（1）  
法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

本時のねらい  
二通の手紙を受け取り、元さんが「考えさせられたこと」を考えることを通し、規則の意義を理解し、自ら規則を守ろうとする道徳的実践意欲を育てる。

元さんの人柄をしっかりと押さえる。  
・働きぶりは誰もが感心するものだった。  
・それまでの勤勉さと真面目さをかわれて、退職後も働かないかという話があった。

元さんが破った園の規則を確認する。  
・入園終了時刻を過ぎたら入園できない。  
・小学生以下の子どもは、保護者同伴でなければならない。

「入れなければよかった。」という意見には、「なぜそう考えるのか」という判断理由を切り返して発問することで、考えを深めさせる。「迷惑」→具体的にどのようなことなのか考えを出させる。

母親の子どもたちへの愛情に気付かせることで、規則の意義を理解することにつなげる。

・園の処分に対する不満や批判的な意見であってもすべて受け止める。その上で、次の発問、元さんの表情が「はればれ」としたものであることの理由を考えさせることで、きまりの意義と、きまりを守ることによって社会の秩序が保たれるということを理解させたい。

元さんの人柄を思い出させ、きまりを破った行為に悔いがないのではなく、規則の意義を理解し、会社の方針に得心した「はればれとした顔」であることを理解させたい。

HOME

学習指導案へ

CLICK

板書例は  
こちら

